

令和五年

松香 Komunikado

令和五年十二月度 月次祭 ごあいさつ

分苑長 山本 健

Saluton al ĉiuj

ただいまは松香分苑の令和五年の年の納の御祭を、遠方からもご参拝いただき、さすがしく斎行させていただきました。ご参拝・ご奉仕くださいました皆様方、又オンライン参拝並びにお玉串をお送りくださりました方々、誠に有難うございます。

先月、十八、十九日に亀岡天恩郷にて、全国主会長会議が御座いました。まず初めにそのご報告をさせていただきます。

教主様ご挨拶要旨…昨年の開祖大祭で長正殿正面に、四代様の「長生殿」の扁額が掲げられたことで、本当に長生殿が完成し、ここから長生殿時代が始まったように思います。世の中、いい事悪い事両面がでており、目に

十二月十日発行

第三百九号

大本松香分苑

豊橋市南牛川二・三・二〇

電話 ファックス

〇五三二一・六三・二一七三

発行責任者 山本 健

見えてご神業が進んでいくのを見せてもえます。同じ信仰のもと、同じ時代に生まれた人と神様に仕え、励み助け合い、皆で協力してできる事からさせていただきますよう。

また、二日目の最後には、本部長にメッセージを言付けられました。その内容をご紹介します。

「この度の会議におきまして、二日間あるいは三日間長時間にわたりました、大変お疲れさまで御座いました。誠に有難うございました。地方機関の皆様の御活動報告など感心しながら拝聴させていただきました。他の全国地方機関でもいろいろと御活動されていることと思います。それぞれの機関の特徴を活かし使命を持って、がんばっておられるお姿に、感銘を受けております。いつも皆さんを応援して居りますので、益々のご活躍をお祈りしています。

大本の活動は、広範囲で御座います、しかしすべての活動は神様の基、全部がつながっております。これからはより一層、大本・人類愛善会・アイゼンみずほ会・農事組合法人おおもと・楽天社・木の花・天声社そして本部と地方機関の皆様が、力を合わせて協調しながらそれぞれの御用に、心を込めてお使いさせていただきます。思います。大本の御用が、とても大事な時節です、使命を発揮するときです、しかし大本が表に出てすべての先頭に立って導いていくというのではなく、大地に根付いてみんなが良くなるように、全体が良くなるようにご神意に従って、縁の下の力持ちのように支えていく御用だと思います。ちようど、炎天下に堆肥を混ぜる御用に似ているかもしれません。気持ちは強く広く大きく暖かく積極的にそして地道に誇りをもつてそれぞれが自ら何ができるかを考えて行動していきましよう。どうぞ宜しくお願い致します。本日はありがとうございます。」

以上の教主様のお言葉が、私たちが今後なすべき方向をお示しくださっております。教主様のご挨拶にも御座いましたように、二日目に行われた、地方機関のとりくみが、非常に希望の持てる内容でした。項目のみ紹介させていただきます。教団方針の詳細は、今後配布されると思しますので、ここでは省略させていただきます。

- 一、三河本苑…東海サミットの活動紹介
- 二、大阪本苑…正食の実践、信徒様が提供して下さった山を購入し、松、梅、柿などを植えて、七草粥も実施。

- 三、神戸本苑…宗教者間の交流を継続している
- 四、岡山本苑…世界連邦岡山県宗教者大会実施の紹介
- 五、徳島本苑…四国サミットを開催、愛善活動・直心会で鳴門金時栽培し信徒に提供、発酵堆肥づくり

令和六年度の松香分苑の方針を、「地域の良き活動に、積極的に参画して仲間作りに取り組みましよう」とさせていただきますので、よろしくお願い致します。これは、教主様のお言葉「世界平和を目指して、地域の方々とも仲良くして、みんなが良くなるように、全体が良くなるように、ご神意に従って、各自何ができるかを考えて、それぞれの使命を果たせるように努めていきましよう！」に従ったもので御座います。

最後になりましたが、今年もあと二十日あまりとなりました。今年一年の皆さま方のご支援・ご協力に感謝申し上げます。そして、良きお年をお迎えくださいませ。

Koran dankon